2024年4月19日 発行

西村証券

チーフストラテジスト 瀧山裕二の Weekly Letter

第15回「騰勢を強める金価格」

先月から金価格が騰勢を強めています。通常、金価格は米ドルの動きに対して逆の動きをする場合が多いですが、現在はドル高であるにもかかわらず上昇しています。何故なのでしょうか？

今週は「金（GOLD）」についてお伝えします。

～金価格～

金の価格はどこで決まるのでしょうか？金は世界中で取引されていますが、特に大きな取引が行われているのがロンドン市場とニューヨーク市場です。日本経済新聞夕刊（火曜～土曜）の『海外商品先物・現物』欄の「貴金属」の筆頭にニューヨーク市場の「金」先物価格の終値が掲載されています。先物市場ですので、限月別（5ヵ月）に価格がついています。先週12日のニューヨーク市場の価格は直近限月（4月限）で1トロイオンス（トロイオンス：取引単位でおよそ31.1グラム）当たり2356.2ドルとなっています。金は米ドルで値付けされているため、金価格は米ドルが高くなれば値下がりし、米ドルが下がれば上昇します。

グラフ1をご覧ください。上のグラフはニューヨーク市場の金先物価格（直近限月）の動きを示しています。週末値を2008年1月から表示しています。下のグラフは同じ期間の米ドル＝円の動きを示しています。縦に緑の線を描いていますが、これは為替がドル安円高の底を付けた時（①、③）や逆にドル高円安のピークの時（②、④）をわかりやすくするために引きました。この二つのグラフを見ると、一目瞭然ですが、ドル安円高の時期には金価格は上昇し、ドル高円安の時期には金価格が下落していることがわかります。ドルが安くなるときはおおむね米国景気が悪くなり、それにつれて金利が下がります。景気が悪くなると株式市況も値下がりするためリスク回避として金が買われます。一方、ドル高円安の時期は、米国景気が好調で株式が上昇し、債券利回りが高くなるため、金への投資は控えられ金価格は下落します。

～直近の金価格～

もう一度グラフ1をご覧ください。今度は④2022年10月の線より右側を詳しく見てみましょう。2022年10月からの金価格の動きはそれまでと違う動きとなっています。ドルは一旦下落した後、再び上昇し、先週末（4月12日）には1ドル＝153.24円となりました。34年ぶりのドル高円安となっていますが、金価格も同時に上昇し2356.2ドルの史上最高値を付けました。ドルが上昇しているときは、金利が高くなっているため金利を生まない金への投資は減少し、価格は下がるのが通常ですが、現在はそれとは違う動きとなっています。

～なぜ金価格は上昇？～

「金」はそれ自体で価値がある実物資産なので、戦争やインフレなどのリスク回避目的で買われる場合があります。今回の金価格上昇は、米国でのインフレ懸念の継続、新興国中央銀行が外貨準備をドルから金へ変更する動き、中国やインドでの旺盛な宝飾品需要などに加え、イスラエルとイランとの対立による中東情勢の緊迫化懸念が金価格急騰の要因と考えられます。このようにドル上昇下の金価格上昇は経済的な変化だけではなく、戦争などの地政学リスクの拡大を先取りしていると考えられ、注意が必要です。

西村証券株式会社　NISHIMURA SECURITIES CO., LTD.
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)
TEL：075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者　近畿財務局長(金商)第26号
加入協会：日本証券業協会　主な事業：金融商品取引業
指定紛争解決機関：特定非営利活動法人　証券・金融商品あっせん相談センター

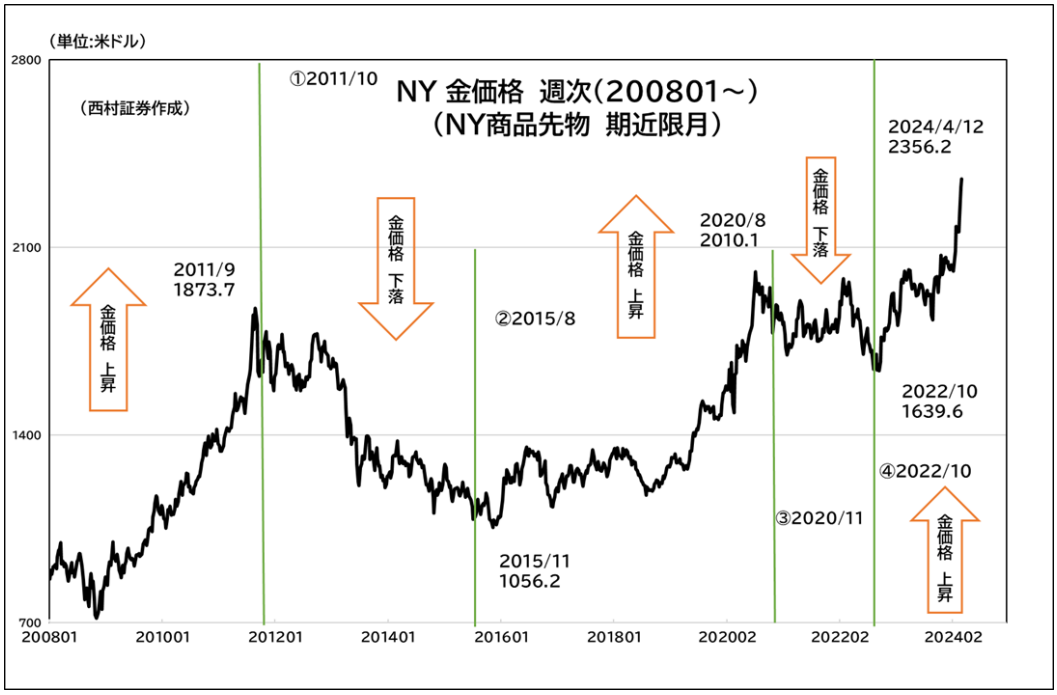
本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したものではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等はご遠慮ください。

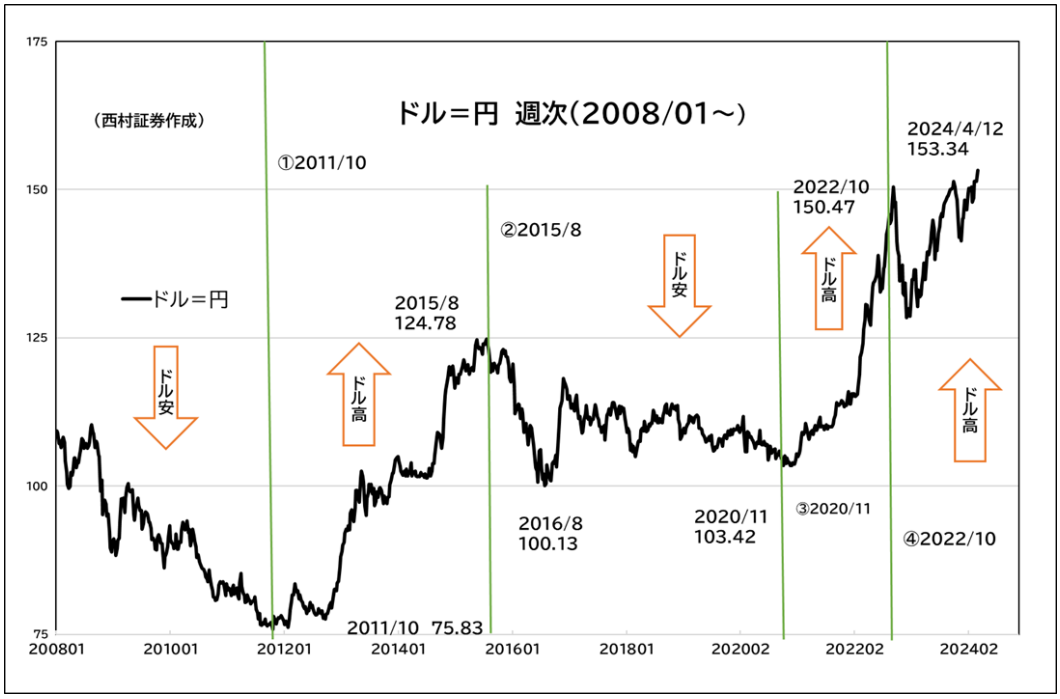
4月13日夜には、イランにより、在シリア大使館空爆に対する報復攻撃がイスラエルに対して実施されました。翌14日にイラン側は、「この報復攻撃に対してイスラエルが反撃を行えばさらに大規模な攻撃に踏み切る」とけん制しました。今後、イスラエルとイランの紛争が大規模な戦争へ拡大すれば、金価格のみならず原油価格なども上昇するでしょう。そうなれば、沈静化しつつあったインフレが再び激化する可能性も否めません。

今後、中東情勢の推移やそれを反映して動く金価格を注意深く見守っていきます。何か変化がある場合には報告させていただきます。

来週24日13時からの「株恋場（かぶれんじょう）」では為替動向などについて解説します。どなたでもご参加いただけるセミナーですので、お気軽にいらっしゃってください。なお、ご参加をご希望の方は右記までご連絡ください。　【西村証券　企画部　075-221-2178】

グラフ1





本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等はご遠慮ください。